

領域	専門基礎分野	授業科目	微生物学 I	単位 (授業時間/時間数)	1 (14/15)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師		講師所属		

### 授業のねらい

専門基礎科目としての微生物学は、病理学や公衆衛生学のほか、多くの看護専門科目の基盤をしている。その内容は、細菌学、ウイルス学、真菌学、原虫学などに分けられ、さらに、これらの科学と不離の関係にある免疫学、感染予防学および滅菌・消毒学をも包括する“総合的な専門基礎科目”である。

看護業務を志す人達は、これらの微生物学の体系的な基礎知識をしっかりと身につけることによって、医療技術の専門家としての自覚と自信をもって感染症患者に適切に対処できるようになる。この教育目標の下に授業計画を立てた。

授業内容は、それぞれの微生物の特徴を熟知させて、その病原性、治療及び予防法などの基礎的知識を広く学習する。最近、大きな社会問題となっている医療事故が、医療現場における微生物汚染に起因している事例がきわめて多い。この点を重視して、院内感染・医療器具の汚染などを防止するためのリスク・マネージメントについて解説し十分修得させる。また、生体における免疫の仕組みを理解して、アレルギー発症のメカニズム、感染防御機構および臓器移植との関係などについて詳述し、理解させる。

### 授業目標

病原微生物とそれらが引き起こす感染予防について理解する。

### 授業概要

1. 感染と発症
2. 感染に対する生体防御機構（免疫について）
3. 感染源と感染経路
4. 滅菌と消毒
5. 感染症の予防と治療
6. 感染症の現状と対策
7. アレルギーと自己免疫疾患

### 授業の進め方

微生物学総論として基礎理論を講義する。内容としては感染と発症、滅菌と消毒、化学療法、感染症の予防、免疫学について解説する。

### 教科書

ビジュアル微生物学（ヌーヴェルヒロカワ）

### 参考図書

### 評価方法

終講時 客観式テスト（100点）

筆記試験を行う。その内容の深さや範囲については、例年の看護師国家試験の内容を参考にしながら、その枠から逸脱しない範囲内で出題する。

試験時間は時間数に含む。